

令和5年度 延岡青朋高等学校 学校評価（通信制課程） 【自己評価】

『評価』は4段階の数値で行う。（4：十分達成されている 3：ほぼ達成された 2：やや不足な点がある 1：ほとんど達成されていない）

重点 目 標	具体的な方策（P）	結果と課題（D）	自己評価 （C）		改善策（A）	学校関係者評価		コメント
			項目別	総 合		評 価		
						項目別	総 合	
I 基礎学 力の 確実な 定着	①生徒の実態を踏まえた教育課程の検討 ・多様な生徒に対応できる教育課程の編成 ・新学習指導要領に対応した教育課程の編成	・新たな学校設定科目（数学Ⅰ応用）の開講 ・レポートの見直し(U Dフォント) ・総合探究の見直し（S時間・R回数）	3	3.0	●スクーリング：指導内容の再確認、ICTの活用 ●レポート：内容の充実及び正確な添削と評価 ●生徒への連絡手段の工夫 ・改善 ●基礎的環境整備の改善	3.6	3.2	・新たな学校設定科目（数学Ⅰ応用）の内容がどのようなものか興味深いです。 ・レポートのフォントの見直し等、細かいところまで行き届いた改善がなされている。 ・単位取得率は重要な問題です。取得率向上を目指し、サポート体制を図って欲しい。 ・生徒個々への丁寧な添削対応に期待します。 ・生徒の学習意欲をより向上させるような取組を期待しています。
	②レポート管理の徹底 ・受付業務の確実性とスムーズな添削指導への移行	・レポート受付業務は複数で対応 *郵便の遅延による添削指導への影響	3		●生徒への連絡手段の工夫 ・改善	3.0		
③単位修得率の向上 ・高卒認定試験等の外部認定試験を利用した単位修得の推奨	・高卒認定試験、外部の単位認定制度を活用する生徒の増加 ・前期単位取得率64%	3	●基礎的環境整備の改善		3.0			
学習 状況 の 把握	④スクーリングカードの運用と適切な管理 ・登校状況の把握と学習状況管理の一助	・前期レポート合格率77% *後期レポート合格率68.9% *後期単位取得率61.3%	3	3.0	●全職員によるきめ細かな指導 ●生徒状況の把握と適切な対応	3.2	3.2	・きめ細やかな生徒指導は大変だとは存じますが、教員が達成感を感じたことを共有し合い、学校組織の強靱化につながると良いと思います。 ・丁寧な添削指導は生徒への支えになります。今後も期待したい。
2 社会 性 を 身 に 付 け た 生 徒 の 育 成	①規範意識や礼法・マナーの醸成 ・面接指導時の立ち番、巡回指導の実施	・自動二輪の騒音走行違法改造車両や校内外のゴミ問題等への適切な対応 *全職員による継続的な指導	3	3.0	●全職員による常時指導の充実 ●SWPBS（学校規模ポジティブ行動支援）の実践 ●LHRの計画と充実 ●チャレンジスクールの更なる充実 ●学校行事における積極的な生徒の参加 ●定時制課程との連携（清掃活動、生徒会活動等）	3.0	3.3	・①④は厳しい言葉かけをしづらくなっている昨今、どのように生徒指導をされているか知りたい。 ・②③は生きづらい現代さからこそ、重要な内容だと感じます。これからも貴校の取組に期待したいです。 ・チャレンジスクール等、特徴のある取組が評価できる。これからも継続していてもらいたい。 ・通信制課程では難しい問題とは思いますが、登校時の声かけ指導をお願いします。
	②自己肯定感・自尊感情の醸成 ・LHR、チャレンジスクールでのSSTの展開	・学校行事、生徒会活動、チャレンジスクール等の生徒の変容	3		●学校行事における積極的な生徒の参加	3.6		
	③道徳教育・人権教育の充実	・生徒理解、いじめ、セクハラ等のアンケート実施 ・人権教育のブラッシュアップ	3		●定時制課程との連携（清掃活動、生徒会活動等）	3.4		
	④環境美化意識の向上	・ゴミ持ち帰り運動の実施	3		●清掃活動、生徒会活動等	3.3		
生徒 の実 態 把 握 と 情 報 共 有	⑤生徒が抱える特性や課題等の情報収集	・外部機関との連携 ・教育相談担当を中心に教福連携会議や研修会への参加	3	3.0	●教福連携の推進 ●外部研修会への参加推進（不登校・ヤングケアラー等） ●職員研修、特別支援委員会の充実 ●配慮を要する生徒への対応（合意形成、家庭との連携）	3.0	3.2	・外部機関とはどこか、何を収集したのか、もう少し明確になると良いと思います。 *子どもネットワークのべおか 日向東白杵障がい者自立支援協議会 等 ・生徒さんが毎日学校に来ているわけではないので、家庭での状況はなかなか把握しづらいところもあると思いますが、ヤングケアラーの問題などもあり、出しにくい声に耳を傾けていくことは必要だと感じます。 ・複雑なケースもあると思います。先生方一人一人の負担が大きくならないように継続改善に努めて下さい。
	⑥生徒理解・支援の促進のために全職員で情報共有及び共通理解の推進	・特別支援委員会の定期開催 ・職員研修の実施 ・合理的配慮の実践	3		●特別支援委員会の充実	3.2		

健康教育・安全教育の推進	⑧部活動の活性化及び在り方の検討	・卓球、柔道、剣道、書道部の県大会での活躍	3	3.0	●部活動への積極的な支援	3.2	・コロナの規制緩和により、伸び伸びと部活動もできるようになったことと思われます。		
	⑨健康・安全教育の実践 ・健康診断受診率の向上 ・LHRの実践（薬物乱用防止教室等）	・外部講師による薬物乱用防止教室、防災避難訓練等の実施	3		●外部機関との連携（学校医・警察・消防等） ●LHRの計画と充実			3.4	・薬物乱用防止教室は、九州医療科学大学でも対応可能です。 ・通教延岡青朋を毎月確認しています。多くの写真が掲載され、学校の様子がわかりやすいです。
3 進路指導の充実	①キャリア教育の充実 ・進路LHR、校内進路ガイダンス、進路講話の充実	・校内行事は計画通り実施 ・参加生徒数増加 ・進路ガイダンスに保護者の参加	3	3.0	●キャリア教育の充実	3.4	・全職員が一丸となって一人一人に向き合った進路指導ができていっているように感じられます。 ・通信制の生徒達にとって「キャリア教育」は非常に重要な時間（行事）であると思っています。外部講師・地域・企業を巻き込んだ内容の濃いキャリア教育の推進をお願いしたい。 ・進路に限らず、情報が溢れている時代なので、①必要な情報を探せる力、②情報の真偽を見極める力、の二つが大事だと感じます。これらの力も育成も合わせてお願いします。		
	②進路意識の高揚 ・進路関係の情報収集と提供 ・進路相談の充実	・オープンキャンパスの案内等、進路情報の提供方法の工夫	3		●校内行事の計画と実践			3.4	
	③就職・進学の見学・面接指導の充実 ・志望理由書の作成指導と面接指導の充実 ・職員の面接指導の脂質向上	・全職員による面接指導の実施 *進路状況(3/4現在) 就職 9名 大学 15名 短大 2名 専門学校等 10名	3		●進路情報提供方法の改善、グループクラスルームの活用等				3.4
	④進路実現能力の育成 ・インターネットの活用の推進 ・関係機関との連携	・Web求人等の積極的な活用 ・ハローワーク、サポステ等との連携	3		●多様な進路希望への対応			3.0	
	⑤学習指導の充実 ・テスト前学習会、進学支援学習会、校外模試の実施	・テスト前学習会の実施(前期単位取得率64%) ・進学支援学習会、校外模試受験者の増加	3		●進路内定率の向上				3.2
4 環境整備と危機管理体制の確立	①施設・設備の点検 ・校内安全点検の実施	・年2回の校内安全点検の結果を基に適切に対応(防災対策備品購入、駐車場の舗装等)	4	3.7	●継続して校内の基礎的環境整備及び風通しの良い職場環境作り	4.0	・能登地方で大きな地震があったばかりですので、防災意識がより高まっていることとお察しします。 ・本校以外でのスクーリングもあり、防災面での対応はなかなか難しい面もあるかと思いますが、今までの大災害を教訓とした備えをお願いしたい。 ・日々、心労がたまっていらっしゃるものと思われます。くれぐれもご自愛ください。 ・まずは「職員の健康第一」を念頭に、更なる働き方改革を推進していただきたい。 ・今後も環境整備及び風通しの良い職場環境の維持・継続に務めてください。		
	②コンプライアンスの遵守	・職員研修、個別面談等の実施 *情報収集、県教委との連携	3		●継続して生徒・保護者・地域の信頼に応えるためにコンプライアンスの遵守			3.4	
	③情報セキュリティ対策	・ICT推進リーダーを中心に、県の指導の下、適切に対応。	4		●防災対策は延岡市だけでなく地域との連携				4.0
	④防災対策マニュアルの更新	・マニュアルの更新と延岡市との連携 *防災教育の実施	4		●働き方改革の推進			3.8	
	⑤緊急避難時の対応	・延岡市との連携	3						3.0
	⑥職員の健康管理	・健康診断、ストレスチェックの実施	4					4.0	